

Ⅲ 自由記述のまとめ

Ⅲ－１ 総括

授業評価調査票の裏面は、自由記述欄とフェースシートで構成されている。平成17年度の試行においては、その回答率の高さと内容の重要さに鑑みて、従来は有効にまとめられることの少なかった自由記述部分についても、その頁を複写したものをそのまま主任講師に提供するだけに止めず、総括的なまとめを行った上で、積極的に体系化して表現するよう努めた。今年度も、その方針はそのまま踏襲することとし、以下のようにその記述内容を概括的に把握することとした。

表 1 および表 2 に示すように、自由記述部分への回答率は非常に高い。とりわけ「よかった点」に関しては、ほぼ4人に3人が回答を寄せていることがわかる。

表 1 学部・全回答者に対する自由記述欄回答数と回答率（％）

全回答者数		全回答者数に対する回答率(%)					
3,078		よかった点		改善点等		意見・感想	
		73.5		58.7		61.3	
自由記述の属性別回答者数・回答率							
		よかった点		改善点		意見・感想	
		回答者数	回答率(%)	回答者数	回答率(%)	回答者数	回答率(%)
属性		2,262	100.0	1,808	100.0	1,887	100.0
学生種別	生活と福祉	287	12.7	206	11.4	245	13.0
	発達と教育	370	16.4	278	15.4	303	16.1
	社会と経済	373	16.5	321	17.8	312	16.5
	産業と技術	61	2.7	56	3.1	54	2.9
	人間の探究	446	19.7	352	19.5	368	19.5
	自然の理解	104	4.6	100	5.5	99	5.2
	選科	412	18.2	331	18.3	334	17.7
	科目	144	6.4	112	6.2	111	5.9
	NA	65	2.9	52	2.9	61	3.2
性別	男性	970	42.9	830	45.9	814	43.1
	女性	1,178	52.1	885	48.9	974	51.6
	NA	114	5.0	93	5.1	99	5.2
年齢別	19歳以下	12	0.5	11	0.6	11	0.6
	20歳代	216	9.5	189	10.5	168	8.9
	30歳代	385	17.0	328	18.1	329	17.4
	40歳代	425	18.8	326	18.0	349	18.5
	50歳代	478	21.1	368	20.4	395	20.9
	60歳代	490	21.7	383	21.2	412	21.8
	70歳以上	215	9.5	167	9.2	186	9.9
	NA	41	1.8	36	2.0	37	2.0
職業別	公務員等	171	7.6	144	8.0	137	7.3
	教員	62	2.7	53	2.9	51	2.7
	会社員	285	12.6	258	14.3	246	13.0
	個人・自営	144	6.4	116	6.4	131	6.9
	農業等	17	0.8	14	0.8	19	1.0
	看護師等	282	12.5	181	10.0	235	12.5
	家事専業	264	11.7	193	10.7	219	11.6
	パート等	241	10.7	197	10.9	195	10.3
	他大学学生	30	1.3	27	1.5	22	1.2
	無職	577	25.5	464	25.7	466	24.7
	その他	139	6.1	121	6.7	120	6.4
	NA	50	2.2	40	2.2	46	2.4

表2 大学院・全回答者に対する自由記述欄回答数と回答率（％）

全回答者数	全回答者数に対する回答率（％）		
1,589	よかった点	改善点等	意見・感想
	77.3	58.1	64.3

自由記述の属性別回答者数・回答率

		よかった点		改善点		意見・感想	
		回答者数	回答率（％）	回答者数	回答率（％）	回答者数	回答率（％）
属性		1,229	100.0	924	100.0	1,021	100.0
学生種別	文化情報科学群	141	11.5	108	11.7	113	11.1
	環境システム科学群	113	9.2	89	9.6	83	8.1
	政策経営	70	5.7	54	5.8	63	6.2
	教育開発	24	2.0	20	2.2	23	2.3
	臨床心理	18	1.5	15	1.6	13	1.3
	選科	654	53.2	479	51.8	550	53.9
	科目	158	12.9	123	13.3	145	14.2
	NA	51	4.1	36	3.9	31	3.0
性別	男性	705	57.4	531	57.5	598	58.6
	女性	432	35.2	324	35.1	346	33.9
	NA	92	7.5	69	7.5	77	7.5
年齢別	19歳以下	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20歳代	59	4.8	49	5.3	48	4.7
	30歳代	189	15.4	143	15.5	165	16.2
	40歳代	315	25.6	234	25.3	258	25.3
	50歳代	287	23.4	209	22.6	231	22.6
	60歳代	222	18.1	174	18.8	187	18.3
	70歳以上	130	10.6	96	10.4	113	11.1
	NA	27	2.2	19	2.1	19	1.9
職業別	公務員等	169	13.8	112	12.1	133	13.0
	教員	221	18.0	144	15.6	174	17.0
	会社員	205	16.7	170	18.4	189	18.5
	個人・自営	97	7.9	82	8.9	83	8.1
	農業等	10	0.8	7	0.8	7	0.7
	看護師等	34	2.8	23	2.5	20	2.0
	家事専業	91	7.4	67	7.3	69	6.8
	パート等	74	6.0	66	7.1	67	6.6
	他大学学生	9	0.7	8	0.9	6	0.6
	無職	180	14.6	137	14.8	153	15.0
	その他	111	9.0	89	9.6	101	9.9
	NA	28	2.3	19	2.1	19	1.9

その結果、今年度も大量の文字型情報が集積されることとなった。そのまとめは、
 昨年 of 試行同様、一部分だけをサンプルとして抽出し、それを示して全体を推測して
 もらうという手段はとらず、さまざまな言葉遣いで多様に回答している自由記述から、
 表3のような形で語句を置換して整理した上で重要語句を抽出し、その比率を求め、
 比率の高いものから検索してそこから代表性のある記述を抜き出す、という手順で総
 括することとした。

表3 自由記述部分(改善点等)の重要語句の置換 (一部例示)

重要語句の置換例

置換前	特にない 特にありません 改善すべき点はない 改善すべき点を感じません 改善すべき点はありません これでよい 特になし	講義内容 内容 講義 話題 テーマ	よい 良い よかった すばらしい	単位認定試験 試験 テスト 再試 記述式 択一式 マークシート 併用式	通信指導 添削 通信	印刷教材 本 教科書 テキスト	放送授業 授業 放送教材 放送	図表 模型 表 写真 数式 グラフ データ 資料 年表 図版 絵 地図 パターン 関連図 参考文献	説明 解説
置換後	特になし	講義	よい	試験	通信指導	印刷教材	放送授業	資料	説明

重要語句の置換例

置換前	わかりづらい 理解しきれない 複雑 難解 難しい わかりにくい 理解できない 難しすぎ 理解出来ない むずかしい 意味不明 理解不足	講師 先生 教授 主任教授 主任講師 教師	棒読み 朗読 棒読 原稿読み 読んでいるだけ 読むだけ 読み上げているだけ 丸読み	専門用語 用語 重要語句	ラジオ R 音声	具体的 実例 演奏例 例題 解答例 くわしく 詳しく	テレビ 映像 TV	しゃべり 早口 発音	理解しやすい わかりやすい 納得 易しすぎる やさしい 簡単 平明
置換後	難しい	講師	棒読み	専門用語	ラジオ	具体的	テレビ	しゃべり	やさしい

その結果、自由記述中の「よかった点」「改善点」「教育システムへの全般的評価」等に関して、出現頻度の高い重要語句が得られた。それらの語句を組み合わせ、たとえば、「印刷教材」と「難しい」という語句の含まれる記述を検索する、「講義」と「印刷教材」と「棒読み」という語句の含まれる記述を検索する、といった手順により、数千の記述の中から一定の傾向を持った一団の回答を抽出することができたのである。もちろん、日本語の特性として、例えば「講義はよくある印刷教材の棒読みではなかった」といった記述がヒットすることも少なくない。そのような場合、最終的には実際に文字を読んで判断せざるを得ないことは事実である。しかし、ほんの一部の標本を読んで推測する場合に比して、格段に妥当性と効率が上昇したことは間違いのないところであろう。

そのようにして、頻度の高い記述から順に選択した種々の意見を、科目所属専攻等の別に分け、①受講科目のよかった点、②受講科目の気になった点、そして、③改善に向けての提案や要求、という3グループごとに分けてチャート化したものが、次頁以降の図である。図には簡単な回答内容の要約を示したが、それに続く記述の頁にはそれぞれの具体的な回答の例を掲げてある。